

諏訪湖一斉ごみ調査（仮称）企画（案）

1 実施目的

諏訪湖創生ビジョン推進会議「ごみの無い諏訪湖」ワーキンググループでは、「啓発」と「イベント的なごみ収集」を大きな柱におき、ごみを捨てない、捨てさせない環境を形成していくための協議を行ってきた。

協議の中で、

○現在も諏訪湖周で一斉清掃を行っているが、以前に比べて大きなごみが減ってきたこともあり、参加者の関心が低くなってきている。

○既に下諏訪町で実践している「水辺のごみ調査」は、諏訪湖におけるごみの状況が把握できると同時に、参加者に現実を伝えるうえで、有効な啓発手段となりうる。

といった意見が出され、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会が中心となって行っている「水辺のごみ調査」を諏訪湖全域で行い、「諏訪湖の実状」を明確化すると共に、参加者や住民の関心を高めるとともに発生抑制へ繋げていく。

この調査については、初回の状況を見ながら、実施回数、規模、実施箇所などを検討し、継続的な事業として定着させていく。

2 主催 諏訪湖創生ビジョン推進会議

3 開催日時 令和元年10月5日（土）午前7時30分～9時（予備日：10月6日）
（開催時間については実施箇所等との調整後に決定）4 実施箇所 5箇所程度
岡谷市、諏訪市、下諏訪町（各1～2箇所）

5 参加人数 各箇所 30～50名程度

6 実施内容
漂着ごみの回収、ごみの種類・数量の調査、ふりかえり

7 調査方法

1) 各箇所において5名程度のグループをつくる

2) グループごとに記録係1名、発表者1名を決める。

記録係はごみの回収は行わず、その他のグループメンバーが回収したごみを調査用紙に記載する。回収したごみは、逐次、記録係に報告する。

3) 調査終了後に集計

4) 発表者は、調査用紙裏面を活用してグループ内で「ふりかえり」を行う

5) 各箇所で、「ふりかえり」の発表を行い、情報を共有後に解散

6) 各箇所の結果を集約し、諏訪湖の水辺におけるごみ量をデータベース化していくと共に、「全国川ごみネットワーク」に数値を報告し、全国調査ともリンクさせる。

8 その他

共催団体について現在調整中。

ごみ調査実施箇所（集合場所）候補

